

■3年次生の受験はいよいよ佳境に……

3年次生が自宅学習期間となり、校内で3年次生の姿を見る機会も減りました。今、先輩たちは大学受験真っ最中の生徒も多いです。知っている人も多いかもしれませんが、1月17日・18日には大学入学共通テストがあり、本校からも多くの先輩が受験をしました。その中で、先輩が1・2年次生に伝えたいと思ったことを記入してもらいました。(良かったことも、悪かったことも……)

ぜひ、自分の1, 2年後の受験に向けて、先輩のアドバイスをぜひ活用してください。

勉強に向かう姿勢に関するアドバイス

- ・ 1, 2年次のうちからちゃんと復習をしとけば3年次になって焦らない。
- ・ 自分で1日のルーティーンを設定して、それをスマホのホーム画面に表示しておいてその通りに過ごす。
- ・ 授業を真面目に受けていると勉強がスムーズになるので、授業は真剣に受けた方がよい。
- ・ 学校の授業や教科書を大切に、授業中寝ない。
- ・ 補習やサマスタは受けた方がいい。
- ・ 普段から時間を測って問題を解いて、緊張を味わえるような勉強をしておく。
- ・ 学校の進路閲覧室を活用する。
- ・ 授業で説明してくれた内容が出題されたので授業は休まずちゃんと受ける。
- ・ 外部模試に積極的に参加する。

教科に関するアドバイス

- ・ 本気で勉強すること。2年次の3月までに単語帳、日本史は通史を全部終わらせておけばかなり有利なスタートラインに立てます。部活が終わって平日6時間は当たり前。学校でも自習してください。質が大事といますが、まずは量をこなすべきです。自分が勉強できない理由を他人のせいにせずに、最後まで自分と戦い抜いた人が勝ちます。
- ・ 英単語は春までにすべて覚える。それ以降は週一で確認するぐらいでOK。
- ・ 過去にやった演習問題など完璧にする。特に予想問題は解説を見ずに説明できるぐらいに。
- ・ 英語は毎日音読をする。演習の間隔をあけすぎない。
- ・ 現代文の択一式の問題は、他の選択肢の何がどう違うか、その選択肢を選んだ根拠を説明できるぐらいしっかりとやる。

- ・ 理科で教科書が難しければ、簡単な参考書をやるのもあり。決めた一冊をだけを完璧に。
- ・ リスニングは早めに取り掛かる、毎日15分だけでも。
- ・ 数I A II Bは2年次の間に1周しておく。
- ・ 歴史総合の問題がかなり出てくるので復習しておくべき。

やっておけばよかったこと

- ・ 問題の解く順番を普段から考える。
- ・ どの教科も時間がギリギリだったから、時間を計って問題を解く練習をするべき。
- ・ もう少し早めに勉強し、進路を考える。3年次になったらいろいろ考えなければならず大変。
- ・ 集中力を維持する訓練をする。
- ・ 時間が足りないので長文を速く読む練習、また時間を計って勉強する。
- ・ 英単語の大切さに気付くのが遅かった、小テストに全力で挑むべき。
- ・ メンタルを普段から鍛えることをしておけばよかった。

多くの先輩から「もう少し早くスタートしていれば……」とか「1・2年次生のうちから真面目に小テストを受けていればよかった」という声を聞きます。先輩はもう一度、1・2年次生に戻って勉強することはできません。しかし、みなさんは今から先輩のアドバイスを実践すれば、同じ後悔をせずに済みます。これから入試休みになると思いますが、まずは年度末考査で高得点をとれるように、しっかり勉強に臨みましょう。



■こんな大学がある！私立大学編

◇立命館大学 ～ 総合大学なのにデザインやアートが学べる ～

デザインやアートを学ぶなら、芸術大学や美術大学かなと考えている人も多いかもしれませんが。しかし、近畿圏には「総合大学にも関わらずデザインやアート」を学べる大学がいくつかあります。そのうち、近畿大学の文芸学部はもとより有名でしたが、2026年4月より立命館大学がデザイン・アート学部を新設します。

関関同立の一つである立命館大学なら、高い実技の能力が課されるのでは……と思っている人もいるかもしれませんが、一般入試や共通テスト利用などの入試方式もあるので、「実技」は不要です。立命館大学のデザイン・アート学部は絵を描いたり、彫刻をしたりするだけでなく、AIの活用であったり、芸術分野の行政との協力をウリの一つとしています。ぜひ、興味のある人はホームページをみてください。



立命館大学
デザイン・アート学部HP